

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	小中学校校舎屋上・外壁修繕事業			事業番号	10-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀 博久	教育総務課	古清水 千多歌	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	1	子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる	
		施策	10	安全で快適な教育環境の整備	
予算事業名	小学校施設維持管理費		中学校校舎等改修事業費		
事務区分〔選択〕	<input type="radio"/> 自治事務 <input checked="" type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ		
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等					
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画 伊勢原市小中学校施設保全計画		計画期間	平成22年度～平成29年度 平成25年度～平成34年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	小中学校校舎は、建築後30年以上経過した施設が3/4を占め、老朽化が進んでいるため、雨漏りによる構造体の劣化や外壁材の落下等が懸念される。				
目的 (何をどうしたいのか)	建物の劣化を抑制し、児童生徒の安全を確保するため、小中学校校舎の屋上防水の更新、並びに外壁の落下防止及び塗装を行う。				
主な対象 (誰・何を対象に)	児童生徒及び学校施設利用者				
事業内容 (手段、手法など)	・小中学校校舎について、老朽化の激しい施設から順次、屋上防水や外壁の修繕工事を実施します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	屋根防水修繕	—	中沢中東・中央・西校舎設計		
	外壁修繕	(伊勢原小3期校舎工事(東・西・南面)) (竹園小学校舎工事)	中沢中東・中央・西校舎設計		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	屋上防水・外壁修繕の実施数	17棟	20棟	20棟	



事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	国庫補助を活用して、引き続き小中学校施設保全計画に基づき、外壁の修繕を実施する。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金	補助先	
	<input type="checkbox"/> その他	具体的内容	
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	屋根防水修繕	-	
	外壁修繕	(伊勢原小3期校舎工事(東・西・南面)) (竹園小学校舎工事)	
実施した取組の内容	小学校2棟の外壁修繕を実施した。(伊小は平成27年度から2箇年で完了)		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	屋上防水・外壁修繕の実施数	17棟	21棟

		年度		28年度 実績				29年度 実績				
内訳	事業費合計 (a)				93,760	千円					千円	
	内訳	国県支出金 ①				30,369	千円					千円
		地方債 ②				59,700	千円					千円
		その他特財 ③				0	千円					千円
		一般財源 (a)-①-②-③				3,691	千円			0		
国県支出金の内容		学校施設環境改善交付金 補助率:国1/3										
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期							
		その他										
人件費	正規職員		0.96	人	8,304	千円		人		千円		
	その他の職員		0.63	人	1,531	千円		人		千円		
	人件費合計 (b)		1.59	人	9,835	千円		人		千円		
トータルコスト (a)+(b)				103,595	千円					千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	屋上防水・外壁修繕の実施数			単位			単位			
		対象数	2		棟							
	総事業費 / 対象数			51,797,500	円			円				

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	国の経済対策に伴う国庫補助金の活用により、計画どおり校舎の屋上及び外壁の修繕を実施した。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	県内各市において学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な保全に取り組んでいる。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	校舎の老朽化対策の推進とともに、児童生徒の安全確保を図るためには有効性は高い。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	国庫補助を活用し、集中的に屋上と外壁の一体的な修繕が実施できた。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	建物の老朽化は常に進行しているため、滞ることなく計画的に校舎の屋上及び外壁の修繕を行う必要がある。
次年度取組方針		国庫補助を活用し、引き続き外壁等の修繕を計画的に実施していく。		
所管部長による総評		小中学校の屋上防水及び外壁の修繕は、建物の老朽化対策及び児童生徒の安全を確保するうえから不可欠である。引き続き国庫補助を活用しながら計画的な修繕を実施していく必要がある。		